

令和7年11月25日

石川県危機管理部危機対策課
担当者：課長 谷内 勇人
内線：4280
外線：076-225-1480

避難生活支援リーダー／サポーター研修について

1 目的

内閣府では、地域防災力の向上を図るため、被災者とのコミュニケーションや具体的な環境向上のためのスキルを体系的に学ぶことができる研修を実施する。

2 日時

1日目：令和7年11月29日（土）10：00～16：00

2日目：令和7年11月30日（日）10：00～16：00

3 場所

白山市立松任小学校 第一体育館（白山市末広1丁目100）

4 主催

内閣府（共催：石川県、白山市）

5 参加者

自主防災会、防災士、消防団員 等

6 講師

山根 一毅 氏（大阪 YMCA 学校事業部 部長・理事）

佐藤 純 氏（Hand Over Japan 代表理事）

岡部 由紀夫氏（西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科 准教授）

山脇 歩子氏（ピースボート災害支援センター）

避難生活支援

リーダー / サポーター研修

「災害関連死・ゼロ」を目指して

参加
無料

定員あり

近年、災害の多発や避難生活の長期化による**災害関連死**の増加がますます懸念されています。

災害関連死を防ぐためには、地域社会の多様な人々が連携し、互いに支え合うことが不可欠です。

本研修では、災害時の避難生活の環境向上に貢献できる地域の人材「**避難生活支援リーダー／サポーター**」としてご活躍いただくことを目指し、演習・グループワークを中心に、**避難生活の環境改善のための実践的な知識・ノウハウ**を学びます。



研修（避難所運営演習）

日時

1日目：令和7年11月29日（土）10:00～16:00

2日目：令和7年11月30日（日）10:00～16:00

会場

白山市立松任小学校 第一体育館

〒924-0878 石川県白山市末広1丁目100

※駐車場あり

持ち物

研修テキスト、昼食、飲み物、筆記用具、バインダー（クリップボード）、屋内用運動靴

実践に
役立つ

どなたでも
参加可能

プログラム

1日目

- ・多様な被災者の心情や状況の理解
- ・避難生活の課題と生活環境の整備

2日目

- ・対人コミュニケーション
- ・避難所運営の担い手との連携・協働



▲研修の詳細内容については、研修紹介動画を御覧ください



この研修は、内閣府「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けたモデル研修として実施するものです。

詳細は裏面へ

研修当日までに事前学習が必要です

研修テキスト

避難生活支援に必要な基礎知識や、過去の災害における課題と対応事例などをまとめたテキストをお送りします。事前にご一読ください。

オンデマンド動画

研修テキストの中でも、特に重要なポイントを解説した動画を、研修前にご視聴いただきます。
(約2時間)

お申し込み後、研修テキストとオンデマンド動画の情報をお送りします。



研修講師



山根 一毅 氏

大阪YMCA
学校事業部 部長・理事

熊本YMCA、日本YMCA同盟での現場を経て、国際協力・交流・語学教育、野外活動、障がい児支援、専門学校教育などを担当し、現在は大阪YMCAに所属。2012年からは日本YMCA同盟協力部門国際担当として海外被災地での支援活動の他、東日本大震災支援活動でのコーディネート活動や、熊本地震では、熊本YMCAが運営する益城総合体育館が避難所となり避難者への支援を行った。令和6年能登半島地震では、金沢市に開設された1.5次避難所の運営アドバイザーを務める。



佐藤 純 氏

Hand Over Japan
代表理事

東京都葛飾区出身。2022年7月に特定非営利活動法人Hand Over Japan設立。緊急支援事業、在宅生活支援事業を柱とし、令和6年能登半島地震では避難生活の支援として、避難所・仮設住宅への支援や出張子ども食堂を企画。日本DMAT登録隊員。JMAT隊員として、コロナ禍ではダイヤモンド・プリンセス号に乗船し活動。現在は、被災地支援や防災教育、防災訓練の企画や運営、講演・研修講師等を行っている。地元では、子ども食堂やフードパントリーを運営。



岡部 由紀夫 氏

西九州大学
健康福祉学部 社会福祉学科
准教授

令和元年佐賀豪雨災害を契機に学生たちと被災地支援チームOKBASEを設立。佐賀県を中心に九州での被災地で足湯やワークショップなどを実施しながら、被災者とのかかわりを通じた活動を展開。令和6年能登半島地震・水害では、災害支援団体と連携し、珠洲市や輪島市、七尾市などで足湯や被災家屋の片付けなどを行った。普段は福祉マンパワーの養成に携わり、学生とともに高齢者の居場所づくりや車いすユーザーとの地域活動等、実践的なフィールドワークを積極的に取り組んでいる。



山脇 歩子 氏

ピースポート災害支援センター

熊本地震をきっかけに所属団体と出会い、災害支援の現場へ。現在まで約10か所の避難所支援に携わる中で、自身の生活再建と集団生活への協力、他者への配慮が求められる避難所の複雑さを痛感。「避難所に来てよかった」「安心して過ごせた」と感じる避難所づくりを心掛けている。2023年からは災害ボランティアセンター運営やコミュニティ支援、支援調整窓口にも関わる。現在は令和6年能登半島地震・能登半島豪雨で被災した石川県輪島市にて活動を継続中。

申込受付は終了いたしました

- ・ 定員(50名)に達した場合、抽選を行い参加可否を申込者全員にお知らせします。
※定員は50名、うち一般公募の枠が10～20名程度となります。

白山市総務部危機管理課 担当：山岸

〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地

電話：076-274-9536

メール：kikikanri@city.hakusan.lg.jp



研修に関する
お問い合わせ先

内閣府業務受託事業者 避難生活支援リーダー／サポーター研修事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所（担当：大宮、津賀）

TEL：03-5402-5355 MAIL: leader-supporter@dynax-eco.com